



## 「千歳御殿」の講演会開催報告



市民連携委員会  
委員長 L・寺腰 一

9月18日(火)の例会において、千歳御殿の講演会と千歳御門現場の見学会を、富山国際職藝学院 上野教授を講師に招き行いました。

今回の講演会に、私は2つの目的を設定していました。

前回(昨年度)の浦畑学芸員による富山城の歴史に関する講演会では、富山城は大きな城だった事が分かりました。だが日本歴史の中でも、第10代富山藩主の建てた「千歳御殿」は文化的に構造的に非常にユニークな建造物である点が世に知られておらず、それを会員の皆様知ってほしい。それがまず第1点でした。



第2点目は、富山城周辺整備が計画され、千歳御門復元が進む中、鯉のぼりや松川清掃のみならず、新しいアクトを私達なりに探し出すヒントになれば良いなと思ったからです。

後日、浦畑学芸員と話した時、「千歳御殿を完全復元すると、桜木町のほとんどが無くなってしまう。」と冗談交じりに言われ、そのスケールの大きさに驚いたのですが、会員の皆様も千歳御殿については「富山の誇れる物」と思われたのではないかと。

そうであれば、1点目の目的は達成されたと思います。

新しいアクトの方向については「土堀造り」の補助作業を市民が参加して行った事を聞いた事があります。また、城整備に他の団体と共同で行う事も出来るのではないかと思います。

娘が京都に居る関係上、昨年10回以上京都に行きましたが、寺院等でボランティア活動をされている方々を見受けます。松川と富山城に活動の場をフォーカスしている私たちは、互いに新しい活動への問題提起をしつつ、協力しあっていきたいものです。



リニューアルした富山城

